

令和7年度 学力向上推進計画 1

学 校 種	小	学 校 名	砥部町 立 広田小 学校
学校番号	90	校 長 氏 名	坪内 英樹
期 間	R7.4～R7.9	学力向上推進 主 任 氏 名	城戸 祐乃

Plan 計画

【現在の子供の姿】

- 基礎的・基本的な学力の定着に差がある。
- 学級によって ICT 機器の活用には差がある。
- 自分の意見を持ち、表現することが苦手な児童がいる。
- 他者と協働しコミュニケーションを図る力が低い児童がいる。
- 学習や諸活動に自ら積極的に関わっていこうとする意欲が低い児童がいる。

身に付けさせたい資質・能力

- 1
- ア 基礎的・基本的な知識及び技能
 - イ 他者の考えや既習事項から関心を広げ、自分の学びたいことを追求する能力
 - ウ 他者と積極的に関わり、対話や協働を通して自分の考えを深め、表現する能力



具体的な取組

- ア EILS・eスタ・学びポケット・電子図書館を活用し、ICT 機器を利用した学習を週に1回全学級行う。
- イ 「国語コーナー」を設置し、他学年の活動を紹介する。授業内で読書の時間を週に1回全学級取り入れる。
- ウ 対話を通して学び合う「せせらぎタイム」を設定し、全校で取り組む。週に1回以上、せせらぎタイムを取り入れた授業を行う。

2

Do 実践

全教職員による共通実践

Check 評価

【成果○と課題●】

- 3
- ICT 機器を積極的に活用することで、個人のペースに合った学習ができた。
 - 「国語コーナー」を階段踊り場に設置することで、多くの児童が他学年の取組に興味を示していた。
 - 麻生小学校とオンライン交流学习を行った。児童は自主的に学習に取り組み、教職員のスキルも向上した。
 - 対話には積極的に取り組むが、話合いの基礎的ルールが十分に身に付いておらず、今後は、ルールに基づいた話し方の向上を目指す必要がある。
 - 図書室の利用が少ない児童に対して、休み時間に教師が誘ったり、図書室の魅力を伝えたりしたが、十分な効果が見られなかった。

4

Action 改善案(課題をより明確にし、取組や評価方法の検証・改善)

- ★ 対話の必要性や達成感を感じさせる課題の提示
- ★ せせらぎタイムの状況報告・情報交換
- ★ 読書を推進するような国語コーナーの工夫

→ 次サイクルへ